

# 性能評価基準改正概要

## 1. 変更箇所

### 性能評価業務方法書（性能評価基準）の改正

実線囲み部分は、内容が変更されています。

点線囲み部分は、JASS6 改定に対応した用語の改正を行っており、内容の変更はありません。

本文	---別紙第1 グレード別の適用範囲と別記事項
	---別記1 開先加工を施さない通しダイアフラム、ベースプレート及び ノンダイアフラム形式柱梁接合部の厚肉パネルの鋼種及び板厚
	---別記2 入熱・パス間温度
	---別記3 予熱管理
	---別紙第2 書類審査
	---別紙第3 工場審査（書類等の確認）
	---別紙第4 工場審査（実施の確認）

## 2. 変更概要

### 1) 通しダイアフラム及びベースプレートの板厚規定の改正

#### ① Jグレード及びRグレード

通しダイアフラムの2サイズアップの最大板厚規定を緩和し、ベースプレートと同じ板厚とした。

#### ② M及びHグレード

通しダイアフラムの2サイズアップの最大板厚規定を撤廃し、ベースプレートと同じ板厚とした。

#### ③ Sグレード 変更なし

### 2) ノンダイアフラム形式柱梁接合部の厚肉パネルへの対応

製造が中止されたGコラム及びS Tコラムを削除し、ノンダイアフラム形式柱梁接合部の厚肉パネルの適用に対応した。(ダイアフラムと同じ扱い)

### 3) 入熱・パス間温度管理表（別記2）の改正

表中の溶接材料記号等の見直しをした。入熱・パス間温度条件の規定内容の変更はない。

### 4) 予熱管理を明確化

旧規定Mグレード及びHグレードの適用範囲の規定（別紙第1）において、一定の板厚を超えるものに対して「適切な予熱行う」としていたが、その適切な予熱規定である別記3「予熱管理」が引用されていなかったため、予熱管理を別記3によって行うことを明記した。

なお、別記3「予熱管理」の規定内容に変更がない。

### 5) その他

JASS6改定に合わせ、用語の見直しを行った。なお、審査項目及び内容自体の変更はない。